

社会資本総合整備計画

令和3年3月9日

計画の名称	25 啓開道路等、防災上重要な道路の強化	重点配分対象の該当
計画の期間	平成25年度～平成29年度 (5年間)	交付対象 福岡県
計画の目標		

「福岡県地域防災計画（地震・津波対策編）」に位置づけた、『啓開道路』や『緊急輸送道路』を整備することにより、本来の整備目的に加え災害に強い道路を構築し、大規模災害発生時の早急な救援・救護や人員・物資輸送を実現する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・啓開道路として要対策箇所対策率
- ・県管理の緊急輸送道路の改良率

定量的指標の定義及び算定式

啓開道路として要対策箇所対策率
(1-Σ整備後の要対策箇所/Σ整備前の要対策箇所)×100

県管理の緊急輸送道路の改良率
(規格改良済み延長/実延長)×100

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)
—	1.5%	3.1%
82.7%	84.1%	85.3%

備考
八女市定住自共生ビジョンに基づき実施される要素事業:A6,17,18,19,25,33
久留米広域連携中核都市圏ビジョン
A2,11,12,17,20,24,31
有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業:A26
・北九州市圏域連携中核都市圏ビジョンに基づき実施される要素事業:
A3,7,13,21,22

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	22,721百万円	A	22,721百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-----	---	-----	---	-----	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
県の事業担当課により評価を実施	計画期間終了後（令和3年3月）
	公表の方法
	インターネット

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29				
25-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 211号・宝珠山拡幅	現道拡幅 L=0.50km	東峰村						399		—	
25-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 322号・甘木大刀洗バイパス	バイパス・現道拡幅 L=3.4km	朝倉市 大刀洗町						303		—	
25-A3	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 323号・香春大任バイパス	バイパス L=10.5km	香春町 大任町						624		—	
25-A4	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 322号・嘉麻バイパス	バイパス L=2.65km	嘉麻市						448		—	
25-A5	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 322号・千手バイパス	バイパス・現道拡幅 L=2.4km	嘉麻市						480		—	
25-A6	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 442号・日向神改良Ⅱ期	現道拡幅 L=0.3km	八女市						3,030		—	
25-A7	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 496号・伊良原ダム付替道路	バイパス L=7.0km	みやこ町						310		—	
25-A8	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 500号・小石原改良	現道拡幅 L=1.57km	東峰村						489		—	
25-A9	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 500号・小石原ダム付替道路	現道拡幅 L=5.12km	東峰村 朝倉市						98		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 500号・第二西落合拡幅	現道拡幅 L=0.6km	添田町						446		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 鳥栖朝倉線・二森工区	バイパス・現道拡幅 L=1.6km	小都市						380		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 久留米柳川線・久留米工区	バイパス L=1.96km	久留米市						260		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 飯塚福岡線・見坂工区	バイパス L=1.974km	宮若市 福津市						4,339		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 筑紫野古賀線・宇美工区	現道拡幅 L=1.8km	宇美町						183		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 筑紫野古賀線・須恵1工区	現道拡幅 L=1.7km	須恵町						18		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 筑紫野古賀線・須恵2工区	バイパス・現道拡幅 L=1.6km	須恵町 粕屋町						380		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 八女春春線・合瀬耳納工区	バイパス L=4.6km	八女市 うきは市						6,855		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 八女春春線・広内工区	現道拡幅 L=0.4km	八女市						170		—	
5-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 八女春春線・長野工区	現道拡幅 L=0.75km	八女市						473		—	
5-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 久留米筑紫野線・久留米市工区	バイパス L=1.6km	久留米市						992		—	
5-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 宮田遠賀線・遠賀町工区	バイパス L=0.7km	遠賀町						436		—	
5-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 496号・上伊良原改良	現道拡幅 L=1.13km	みやこ町						288		—	
5-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 久留米筑紫野線・北野大刀洗工区	バイパス L=4.75km	久留米市						70		—	
5-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 442号・調麓橋	現道拡幅 L=0.15km	八女市						20		—	

5-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(一) 枝光今古賀線・大門橋	現道拡幅 L=0.3km	柳川市						250		—
5-A3	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 鳥栖朝倉線・佐田川橋・桂川橋	現道拡幅 L=0.35km	大刀洗町 朝倉市						50		—
5-A3	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	改築	(主) 福岡志摩前原線・芥屋工区	バイパス L=1.10km	糸島市						386		—
5-A3	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	(国) 442号・黒木バイパス	バイパス L=2.10km	八女市						545		—
合計																22,721		—

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29					
合計																0		—

C 効果促進事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29						
合計																0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29						
合計																0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		バイパス整備や現道拡幅等を行った結果、啓開道路の要対策箇所の対策率が向上するとともに緊急輸送道路の改良率が向上したことで、災害に強い道路を構築し、大規模災害発生時の早急な救援・救護や人員・物資輸送の実現に寄与した。																
II 定量的指標の達成状況	啓開道路として要対策箇所の対策率	最終目標値	3.1%	目標値と実績値に差が出た要因	・用地取得の困難等による整備進捗の遅れが発生したことや、計画期間中の交付金制度の変更に伴う整備計画の再編により他計画へ移行した事業もあり、目標を下回る結果となった。													
		最終実績値	0.9%															
	県管理の緊急輸送道路の改良率	最終目標値	85.3%	目標値と実績値に差が出た要因	・用地取得の困難等による整備進捗の遅れが発生したことや、計画期間中の交付金制度の変更に伴う整備計画の再編により他計画へ移行した事業もあり、目標を下回る結果となった。													
		最終実績値	83.0%															
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）																		

3. 特記事項（今後の方針等）

・整備計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し効果発現を目指す。